

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 049号

起業！世間は甘くない

桑山 則昭さん

会社名：めいぷるハート（個人事業） 役職：代表
資格：産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント
第一種衛生管理者、健康管理士（一般指導員）
睡眠改善インストラクター、終活アドバイザー



【受講のきっかけ】

私は大手 IT 企業に勤務していましたが、49歳の時に営業担当から人事部配属になったことが受講のきっかけでした。当時は、産業カウンセラーにあまり関心はなかったのですが、同僚がメンタル不調者対応に苦慮する姿を見ているうちに、自分もカウンセラーになって役に立ちたいと思うようになりました。また、妻が勤務先の同僚に誘われて産業カウンセラー資格を取得していたことも動機付けになりました。翌年4月から産業カウンセラー養成講座を受講し、2011年3月に資格取得しました。

【資格取得後の活動状況】

今年4月に個人事業を起業しましたので、その活動状況についてご紹介いたします。

（1）起業までの経緯 私は資格取得から3年後に人事部所属のカウンセラーを担当し、主にメンタル不調者へのカウンセリング、復職支援および研修講師などの実践経験を積みました。60歳定年後（再雇用）も継続担当していましたが、将来はカウンセラーとして独立したい気持ちもあったので、キャリアプランを立てました。最初は「創業実践塾」に通い、事業計画作成のノウハウを学び、同時に「今後必要な資格取得計画（冒頭表示の資格）」を立て、大学受験以来の猛勉強で3年をかけて取得することができました。そして62歳になり満を持して「メンタルヘルスケア&キャリアコンサルタント」を起業しました。

（2）起業後の活動 起業直後（4月）には、幸運にも3社から業務委託契約をいただくことができました。1社目は、今年引退した会社で週2回（1日7時間勤務）のカウンセリングと研修講師の契約です。長年培った実践経験を人事部に必死にアピールしました。2社目は、EAP会社の講師認定オーディションに合格し、研修講師とカウンセラーの契約です。今は、コロナ禍で自殺対策による国や地方自治体要請のSNS相談の要請が非常に多く、また研修講師も実施予定です。3社目は、当協会東関東支部です。今年3月の講師認定合格後は、既に研修講師の実績もあり、年度末までにも数件の実施予定です。今回、起業して感じたことは、世間は甘くないということでした。履歴書・経歴書提出時や名刺交換時には、必ず保有資格や実践経験を問われます。個人事業主は、特に看板や信用がないのでその重要さと自己研鑽の必要性を痛感しました。現在もシニア産業カウンセラー、SNS相談カウンセラー、両立支援コーディネーターおよび認定相談員などの資格取得にチャレンジ中です。

起業1年目は「土地を耕して種を撒き」、2年目で「花を咲かせて実を結び」、3年目で「収穫する」ことを目標にして、常に健康に留意しながら精進していきたいと考えています。